

子育て家庭と区長のタウンミーティング（子育てカフェ）で寄せられた主な意見
テーマ：今後の児童館運営について
（2024年5月18日開催分）

◎開館日時・飲食に対する意見
・開館日時
子育て家庭にとって、開館時間が9時や10時では遅い。もっと早い時間から開館してほしい。
乳幼児子育て世代の駆け込み場所として毎日開館してほしい。保育園に通う家庭が増加していることから、児童館が休日の遊び場としてのニーズが高まっている。
委託などで経費がかかるのであれば、児童館の運営にボランティアの協力などを得て、開館日時の拡充を検討してほしい。
・飲食に関すること
飲食スペースの利用は、衛生面に問題が残らないようなルールを定めてほしい。
児童館に通っている子どもには、家庭で手作りの食事をできていない子が多数いる。そのため、児童館で子どもと一緒にごはんやお菓子を作り、手作りの食べ物を食べる機会を与えて欲しい。

◎児童館の機能や運営、利用ルールに対する意見

・児童館の利用ルールについて

「中高生用のスペース」など、特定の世代に限定した場所や設備を作るのではなく、誰もが利用しやすい場所にしてほしい。

児童館の利用ルールは、大人の事情で決めるのではなく、当事者である子どもの意見を聴いて、決めてほしい。

ゲームの利用ルール作りが扱いが難しいと感じる。子どもたちは児童館でもやりたがるが、利用が長時間化してしまう。

中野区の児童館全体で同じルールになるようにしてほしい。ある児童館はできることが、他の児童館はできないとなっては、利用しづらくなってしまう。

・児童館の機能や運営について

子どもに関する情報を収集、発信できる場が欲しい。特に個人が発信できるような場がないので、設けて欲しい。

児童館が遊ぶ場所としての機能だけではなく、学ぶことのできる場所としても機能してほしい。例えば、小学生が喋りながら勉強できる場所があると良い。図書館などで、小学生が喋らないで勉強するのは難しい。

児童館が不登校の子どもにとっての居場所の役割を担ってほしい。

◎施設やおもちゃ、イベントに対する意見

・遊具やおもちゃについて

児童館がおもちゃを購入するには予算がかかるため、手作りのおもちゃを作る講座をしてほしい。子どもたちが一緒におもちゃをつくること自体が文化になるのではないか。また、おもちゃを作るのを教える講師役として、近隣の子育て広場と連携して行ってほしい。

外遊び用の大型遊具を充実させてほしい。

全体的におもちゃが古い。もっと新しいおもちゃを充実させてほしい。

児童館ごとにおもちゃや設備等で強みや特色を出して、それを周知してほしい。マンガや本がたくさんあったり、自由に絵が描ける児童館、特定のおもちゃが充実している児童館などがあれば、親や子どもが好きな所を選んで行ける。

不要になったおもちゃの寄贈を積極的に受け入れて欲しい。不要になったおもちゃの交換会を開催しても面白いと思う。

中高生が気軽に音楽活動できるような場所が中野区には少ない。区民活動センターに音楽室があっても、利用しやすいルールになっていない。児童館でも楽器演奏などができるよう、スタジオを整備して欲しい。

・イベントの実施について

地域内で、同日に同じ趣旨のイベントが行われていることがある。児童館同士で連携し情報を共有することで、日程など調整し、参加者をとりあうことがないようにできるとよい。

◎その他、児童館運営等に対する意見

区民活動センターや児童館がどんな場所で、何ができるかを子どもや子育て家庭が知らない。広報をより積極的にしてほしい。

閉園した区立保育園などを子どもが利用できるような遊び場・居場所にしてほしい。

区内には一時的な預かり保育ができる施設が少なく、病児になるともっと少ない。児童館を含めて子どもを一時的に預かる施設を増やし、病児の預かりも増やしていただきたい。

児童館と学童クラブが併設していると、幅広い世代が児童館を利用しづらい。学童クラブと児童館の施設を分け、それぞれ独立させてほしい。